

アイ・オー・データ機器  
環境報告書 2014

Environment Activity 環境への取り組み

対象期間：2013年7月1日～2014年6月30日

## CONTENTS

- 01 会社概要、編集方針
- 02 社長メッセージ
- 03 環境方針
- 04 環境マネジメントシステムの状況
- 05 環境に配慮した製品作り
- 06 環境活動、地域貢献活動
- 07 データシート

アイ・オー・データ機器 環境情報は

→ <http://www.iodata.jp/company/environment/>

→ または弊社ホームページで

## 会社概要 Corporate Information

社名 株式会社アイ・オー・データ機器  
 設立 昭和51年(1976年)1月10日  
 代表者 代表取締役社長 細野昭雄  
 資本金 3,588百万円  
 年商 46,228百万円(連結ベース 2014年6月期)  
 株式上場 東京証券取引所 JASDAQ(コードNo. 6916)  
 従業員 460人(連結ベース 2014年6月期)  
 417人(単体ベース 2014年6月期)  
 業務内容 PC周辺機器全般の開発、製造、販売  
 子会社 国際艾歐資訊股份有限公司  
 I-O DATA America, Inc.  
 ITGマーケティング株式会社  
 関連会社 I-O & YT Pte. Ltd.  
 株式会社デジオン  
 クリエイティブ・メディア株式会社  
 (2014年6月30日現在)

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA

外枠のない丸みを帯びた字体には、お客様との間に垣根の無い身近な存在でありたい、既存の枠組みに囚われることなく柔軟に進化し続ける企業でありたいとの思いを込めております。  
 IとOの間のシンボルは「心」をモチーフに、お客様の声に耳を傾け(I:インプット)、お客様の期待に誠心誠意お応えする(O:アウトプット)ため、技術とアイデアを磨き続ける当社の創業精神を表現しております。

## 事業案内 Corporate Information

パソコンやデジタル機器をお客様の用途や目的に合わせてカスタマイズする際の良きサポート役、これが周辺機器です。アイ・オー・データ機器は、この分野において、機能性やユーザビリティはもとより、感性に訴えるデザインにいたるまで、市場から高い評価を受けています。高度化・多様化の一途をたどる情報社会の中、約40年に亘り培ってきた技術を用いて、時代を見据えた製品展開により多様なニーズにお応えすることが私たちの不変なる使命であると考えております。  
 お客様一人ひとりの声に耳を傾け、皆様のデジタルライフを支える存在となるべく、アイ・オー・データ機器は挑戦を続けてまいります。

### メモリー Memory



動画データの再生や編集、ゲームを楽しむ時も、大容量メモリーの増設で、あなたのパソコン環境もぐっと快適に。先端のDDR3SDRAMはもちろん、サーバー・ワークステーションメモリーまで、豊富なラインアップを取り揃えています。

### ストレージ Storage



あなたの大切なデータを簡単に保存・管理するストレージ(記憶装置)分野でも、アイ・オー製品は市場から高い支持を得ています。最新の規格・メディアに対応したドライブに、アイ・オーならではの工夫を加えて、使いやすさと高い信頼性を兼ね備えた製品を提供しています。

### フラッシュメモリー Flash Memory



携帯電話やデジタルカメラは今や手放すことができない存在。写真画像や音楽データの保存・パソコンへの転送・友人との受け渡しなど、デジタルライフを楽しむ時にも、アイ・オー製品は大活躍。「高性能」と「使いやすさ」をあわせ持ったものだけを提供します。

### マルチメディア Multimedia



「録る・見る・創る」——映像&音楽を自分だけのライフスタイルで自由自在に楽しんでみませんか。YouTubeをテレビで簡単に楽しめるLinkTVやスマートフォン用ワンセグチューナー、地デジ対応TVキャプチャーなど、パソコンの枠を超えた楽しみを実現します。

### ネットワーク Network



ネットワークを介したデータ共有や、データのバックアップに適したネットワーク接続ハードディスク(NAS)、そして、快適なデジタルライフに欠かせない無線LANや、携帯通信、次世代ネットワーク対応製品に至るまで、豊富にラインアップ。ホームからオフィスまで最先端のネットワーク環境の構築に貢献します。

### 液晶ディスプレイ LCD



人とパソコンとの一番大切なインターフェイス「ディスプレイ」。映像をありのままの鮮やかさで映し出す高い色再現性、スマートでスタイリッシュなデザイン、そして環境に配慮した「ECOモード」。これまでの液晶ディスプレイの常識を覆す、最先端の「美」がここにあります。

## 編集方針 Editorial Policy

当社は、社員一人ひとりが地球人としての自覚を持ち、環境保全活動と当社事業活動とが一体となるよう、様々な活動に取り組んでまいりました。その今年度の成果を本報告書にまとめております。

これからも企業理念に従い、お客様の期待に応え、当社の商品を通じてお客様の生活環境の改善に努め、次の世代により良い環境を残せるよう、一層の活動に取り組んでいく所存です。

環境管理責任者

ご意見、お問い合わせはこちらまで…

ホームページアドレス	http://www.iodata.jp/
連絡先	住所: 〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地 E-mail: environment@iodata.jp
発行月	2014年9月
次回発行予定	2015年9月
対象分野	環境、社会貢献
作成部署	CS部・事業戦略部 販売促進課
対象範囲	株式会社アイ・オー・データ機器・本社 第1ビル・第2ビル
対象期間	2013年7月1日～2014年6月30日(39期)



株式会社 アイ・オー・データ機器  
代表取締役社長 細野 昭雄

平素はアイ・オー・データ機器の活動に、多大なるご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当社では、「事業活動と自然との調和共生」を環境方針として掲げ、地球環境の保護・保全による持続可能な社会の実現に向けて、商品や事業活動における環境負荷低減を目指しております。

省エネで環境性能の優れた商品・サービスの開発やトータル提案に磨きをかけるとともに、事業活動においても、休憩時間消灯や空調機温度調整の徹底、LED照明への切り替えなど、環境負荷を抑える様々な施策を実施しております。

我々が環境に対して果たすべき役割は、これからも時代とともに変化し、また増していくものと思います。例えば、関心が高まる空調や照明などの家電機器をコントロールして電力使用量を節約するHEMS（家庭向けエネルギー管理システム）といった分野にも当社は着手し、普及の一翼を担ってまいりたいと考えております。

自らの身の回りの行動からお客様のもとで永きに亘り使用いただく商品まで、一貫して環境への配慮に一層取り組んでまいります。

当社では、引き続き企業としての社会的責任を果たしていくために、ステークホルダーの皆様との連携を深めていきたいと考えております。この報告書は、当社が2014年6月期（第39期）に実施した環境保全活動をご紹介します。アイ・オー・データ機器の価値向上に向けて、皆様からの忌憚のないご意見・ご指導を賜りたく、お願い申し上げます。

株式会社 アイ・オー・データ機器  
代表取締役社長

細野 昭雄

## 環境方針:事業活動と自然との調和共生

アイ・オー・データ機器は、顧客の期待に応え社会に貢献することを企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、事業活動や商品の様々なライフサイクルを通して環境負荷低減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて行動する。

### ■環境行動方針

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める
2. 環境関連法規制、業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む
3. 社外の環境保護・保全活動・行事への協力・支援を通じ社会貢献に努める
4. 環境目標を定め、これを見直しながら以下の活動を推進する
  - (1) 商品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める
  - (2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する
  - (3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める
  - (4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める
  - (5) 環境に関する情報開示に努める
5. 当環境方針は、全従業員及び当社の為に働く全ての人に周知し、また、社外にも公開する

2013年9月

## 環境目標と実績※

分類	環境方針	環境目標(39期)	評価
環境目的・環境目標に関する活動	(1) 商品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める。	ユーザ利用環境の効率化を目指す為、スマホ、タブレット、TV等PC用途以外も含む多用途商品の提案もしくは商品化をする。	達成
	(2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する。	CO <sub>2</sub> 換算で電気・灯油の使用量を削減する。	達成
	(3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める。	エコ活動推進プロジェクトとして ①カスタマーサービス活動を通じてのお客様へのエコ商品の提案 ②廃棄物排出抑制、エネルギー使用抑制 ③地域環境活動を通じて従業員の環境活動意識の向上を実施する。	達成
	(5) 環境に関する情報開示に努める。	過在庫製品の訴求ポイント再発掘や売り方の工夫による拡販施策を実行する。	達成
	(4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める。	生産及び出荷時に発生する廃棄物を低減する。	達成

※39期の環境方針と目標・実績です。

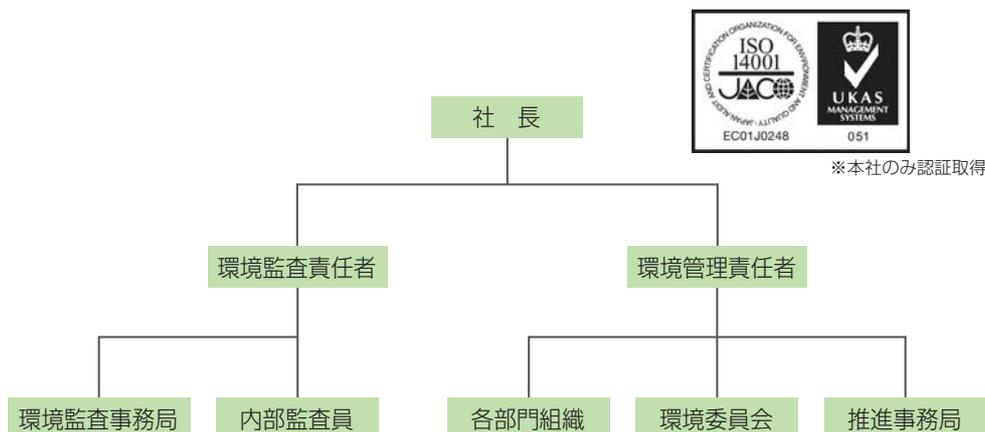
### 【総評】

39期は全ての目標を達成することができました。

39期は顧客視点での商品開発、業務効率化に取り組みましたが、今後もより経営方針と整合し、環境保全に寄与する活動に取り組みます。

## ■ 環境管理体制

企業理念「社会やお客様からのINPUTを当社のアイデアと技術と誠意によって進化させ、より信頼されるOUTPUTとして提供することにより、お客様の期待に応え社会貢献に寄与し続ける。」を実現すべく、経営方針や環境方針を展開しております。これら方針に基づき関連部門が連携し、相乗効果を発揮する活動を目指しております。それら目標に対して、実施計画を立て(Plan)→運用(Do)→監査(Check)→マネジメントレビュー(Act)といったサイクルによる継続的な改善を行っています。



## ■ 内部環境監査

第三者機関による外部審査を受けるとともに内部環境監査員による内部監査を1回/年実施し環境マネジメントシステムの管理向上を目指しています。

### ■ 2013年10月に実施した内部環境監査の結果

内部環境監査の結果、不適合及び観察事項の指摘件数が前年に比べ減少しており運用改善が行われています。見つかった不適合は是正処置され一定期間経過後に効果の確認をし、再発防止策を講じています。なお、内部監査は、環境側面に加え事業等の観点等にも繋がる様に、改善に努めております。

不適合	3件(2012年 5件、2011年 1件)
観察事項	3件(2012年 6件、2011年 8件)

# 環境に配慮した製品作り

Making eco-friendly products

## 省エネ・省電力にこだわり! がっちり節電ハブ

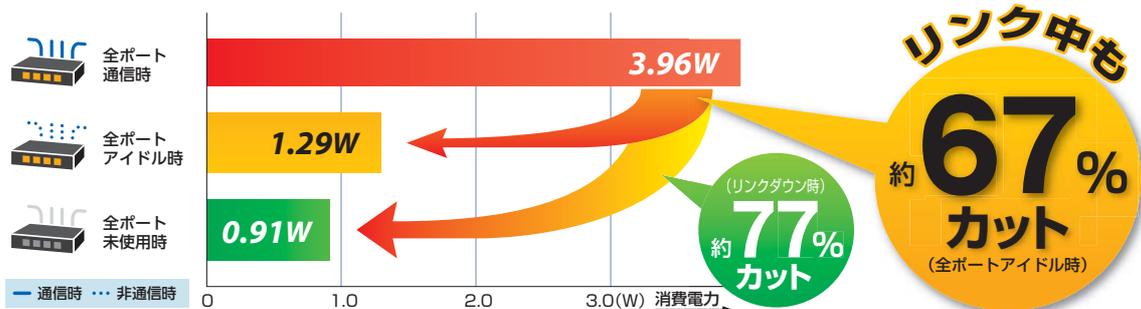
アイ・オーの「がっちり節電」搭載ハブなら、待機時最大約77%\*電力をカットすることができます。昼夜でパソコンの使用状況が大きく変わるオフィスで「省エネ」な環境を提供いたします。

\*ETG-ESH08NAの場合



スイッチングハブ  
ETG-ESH08NA

## ポート使用・未使用時の消費電力比較値(ETG-ESH08NAの場合)



〈測定環境〉

電力計: Yokogawa製 WT110、負荷機: Yokogawa製 AE5511、中継機: D-LINK製 DGS-1100-24、ケーブル長: 2m

〈測定方法〉

1518byte、イーサネットフレームのwire rate送受信状態にて測定

\*LANケーブルで接続された機器同士がIEEE 802.3azに対応している必要があります。



## EEE 技術を採用

イーサネットリンクの大半はデータ伝送を待つアイドル状態にあり、その時間も常に電力を消費しています。がっちり節電ハブはデータが流れていないアイドル時に消費電力を抑えるEEE(Energy Efficient Ethernet)技術を採用し、リンク中も自動的に消費電力を削減することができます。

\*LANケーブルで接続された機器同士がEEE802.3azに対応している必要があります。



## ポートの利用状況に合わせて無駄な電力を節約

**リンクダウン検知**  
リンクダウンしているポートを検知し、余分な電力をカット!!

**ケーブル長感知**  
LANケーブルの長さを判別し電力を自動で調節!!



## がっちり節電 対応製品



がっちり節電の対応製品に無線/有線LANルーターが加わりました。

<p>5ポート</p> <p>スイッチングハブ ETG-ESH05DBシリーズ</p>	<p>8ポート</p> <p>スイッチングハブ ETG-ESH08DBシリーズ</p>	<p>5ポート</p> <p>スイッチングハブ ETG-ESH05NA</p>	<p>8ポート</p> <p>スイッチングハブ ETG-ESH08NA</p>	<p>16ポート</p> <p>スイッチングハブ ETG-ESH16NA</p>	<p>24ポート</p> <p>スイッチングハブ ETG-ESH24NA</p>
<p>8ポート</p> <p>スイッチングハブ ETX-ESH08NBシリーズ</p>	<p>16ポート</p> <p>スイッチングハブ ETX-ESH16NBシリーズ</p>	<p>24ポート</p> <p>スイッチングハブ ETX-ESH24NBシリーズ</p>	<p>11ac</p> <p>「11ac」技術 対応ルーターも がっちり節電</p> <p>無線LANルーター WN-AC1600DGR3</p>		
<p>有線LANルーター ETX2-R / ETG3-R</p>	<p>無線LANルーター WN-G300GR</p>	<p>無線LANルーター WN-AC733GR3</p>	<p>無線LANルーター WN-AC1167DGR3</p>		

## 環境活動 Environmental Activity

地球環境に配慮し、様々な活動を行っています。

### ■ 本社内屋、一部の照明設備に人感センサー及びLED照明を導入

本社内屋内、一部の廊下とトイレの照明設備に人感センサー及びLED照明を導入しました。

人感センサーにより、人が近づくと自動点灯し、不在時には自動消灯、またLED照明への切替により消費電力が削減され、電気使用量の節約につながりました。



## 地域貢献活動 Regional Contribution Activity

### 1 新入社員美化清掃活動

- 日時：平成26年4月18日(金)
- 場所：石川県金沢市桜田町
- 参加人数：14名

毎年、新入社員教育の一環として本社内屋周辺の美化清掃活動を行っています。

今年も14名の新人達が、1時間に亘って歩道や側溝、公園のゴミ拾いなどを実施しました。



### 2 海岸清掃「クリーンビーチいしかわ」

- 日時：平成26年5月25日(日) 7:00~8:00
- 場所：専光寺浜(本部) 健民海浜プール前の浜
- 主催：クリーンビーチいしかわ実行委員会事務局
- 参加人数：16名

毎年、複数の企業、個人が共同で海岸清掃を行う「クリーンビーチいしかわ」に企業として今年も参加しました。

当日は天候にも恵まれ、当社以外の参加者とも協力して金沢市内の海岸を1時間に亘って清掃し、海岸に埋まっていた大きな漁網を悪戦苦闘しながら掘り出す等、ゴミ袋をもちながら各員が沢山のゴミを拾うことで海岸の美化に努めました。

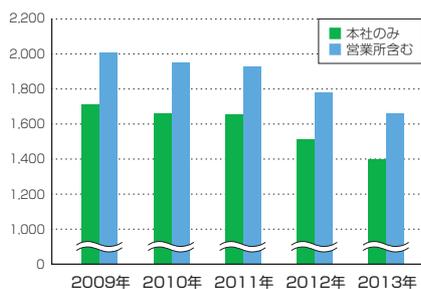


## 主要な環境パフォーマンスの指標の推移 ※1

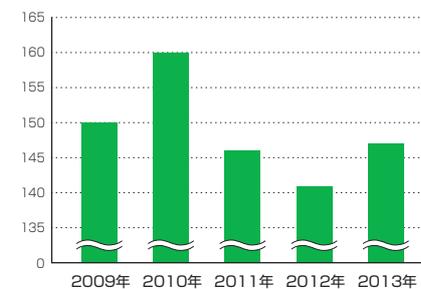
報告対象期間(期 = 7/1～翌6/30)		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
項目	単位					
電力使用量(本社のみ)	1,000kwh	1,711	1,661	1,653	1,514	1,399
電力使用量(営業所含む)	1,000kwh	2,007	1,954	1,926	1,780	1,661
灯油使用量	kℓ	150	160	146	141	147
CO <sub>2</sub> 排出量(本社のみ)※2	t-CO <sub>2</sub>	1,507	1,498	1,459	1,355	1,294
CO <sub>2</sub> 排出量(営業所含む)※2	t-CO <sub>2</sub>	1,670	1,659	1,608	1,501	1,439
一般廃棄物	kg	97,090	103,955	79,810	26,100	27,220
産業廃棄物	kg	51,229	31,174	18,535	17,059	25,364
特別管理産業廃棄物	kg	-	-	-	-	5
総廃棄物量(a)	kg	148,319	135,129	98,345	43,159	52,589
リユース(b)※3	kg	79,059	56,566	62,055	97,611	542,656
有価物(c)	kg	19,566	31,297	68,251	142,963	137,762
総排出量(a+b+c)	kg	246,944	222,992	228,650	283,734	733,007
グリーン購入率	%	93%	94%	97%	90%	95%

※1:報告が必要な温室効果ガス(非エネルギー起源CO<sub>2</sub>、メタン、N<sub>2</sub>O、HFC、PFC、SF<sub>6</sub>)の排出はありません。  
 ※2:CO<sub>2</sub>排出量のうち、電力の排出係数は、平成25年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直しております。  
 ※3:2013年より木製パレットの再利用について本社倉庫に加えて外部委託倉庫を追加計上したため増加しております。

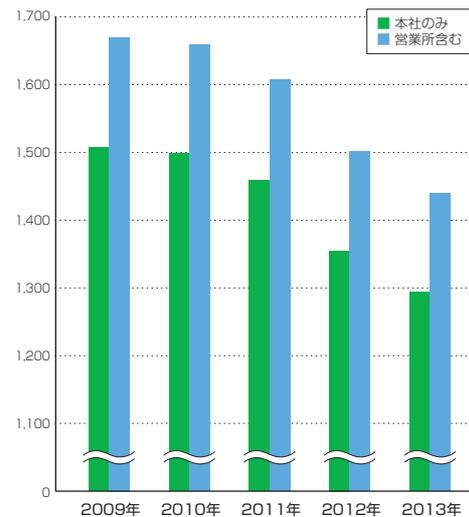
### ● 電力使用量 [1,000kwh]



### ● 灯油使用量 [キロリットル]



### ● CO<sub>2</sub>排出量 [ t-CO<sub>2</sub> ]



## 製品回収リサイクルの実績

### ● 資源有効利用促進法に基づく実施状況 液晶ディスプレイ

期間	家庭系事業系	回収重量 (kg)	回収台数 (台)	再資源化処理量 (kg)	資源再利用率 (kg)	資源再利用率 (%)
2009年4月～2010年3月	事業系	1,131	209	9,051	7,827	86.5
	家庭系	7,920	1,464			
	合計	9,051	1,673			
2010年4月～2011年3月	事業系	1,022.5	189	11,566.6	9,593.1	82.9
	家庭系	10,544.1	1,949			
	合計	11,566.6	2,138			
2011年4月～2012年3月	事業系	741.2	137	13,314.0	11,016.9	82.7
	家庭系	12,572.8	2,324			
	合計	13,314.0	2,461			
2012年4月～2013年3月	事業系	1,888.1	349	16,257.1	13,895.8	85.5
	家庭系	14,369.0	2,656			
	合計	16,257.1	3,005			
2013年4月～2014年3月	事業系	2,185.6	404	20,579.6	17,571.9	85.4
	家庭系	18,394.0	3,400			
	合計	20,579.6	3,804			

※特に指定のない場合、表内の年の表記は、当年の7/1から翌年の6/30までとなります。

弊社のCO<sub>2</sub>排出は主に電気や空調に利用する灯油が主たる排出源です。

今期、灯油の使用量が悪化しましたが、2014年6月に空調をより高効率の設備に更新し、来期にはその効果が見込まれます。

また、電気の利用についても、人感センサーを導入するなど諸施策を実施しており、全体的に改善が進むものと考えております。